

平成31年2月教育委員会定例会 会議録

平成31年(2019)2月21日(木)午後2時、出雲市教育委員会定例会を市民応接室に招集した。

1 会議に出席した委員

教 育 長	榎 野 信 幸
教育委員(教育長職務代理)	松 浦 剛 司
教 育 委 員	小 豆 澤 貴 洋 子
教 育 委 員	水 陽 子 志
教 育 委 員	錦 田 剛 志

2 説明のため会議に出席した者

教 育 部 長	植 田 義 久
教育部次長(教育施設課長)	金 山 隆 司
教 育 政 策 課 長	渡 部 祐 子 志
学 校 教 育 課 長	金 築 健 志
児 童 生 徒 支 援 課 長	児 玉 弘 之
学 校 給 食 課 長	金 森 真 治
出 雲 科 学 館 長	山 本 利 明
学 校 教 育 課 主 査	山 崎 創
児 童 生 徒 支 援 課 課 長 補 佐	渡 部 俊 樹

3 会議の書記

教 育 政 策 課 課 長 補 佐	常 松 晃 好
-------------------	---------

4 傍聴者

1人

開会

(榎野教育長) 只今から、平成31年2月出雲市教育委員会定例会を開会します。本日の会議はお手元に配付しております日程のとおり行います。

1 教育長行政報告

(榎野教育長) それでは、教育長行政報告を行います。

(榎野教育長) (以下、報告項目のみ掲載)

(1) 前回以降の動向

H31.1.28	まちづくり懇談会(大津)
H31.2.4	出雲地区雇用推進協議会
H31.2.4	校長面接 ~2.19
H31.2.6	小中連携推進委員会
H31.2.7	いじめ問題対策委員会
H31.2.7	年中児発達相談医師会との意見交換会
H31.2.8	保幼小連携推進委員会
H31.2.9	大社幼稚園100周年記念式典
H31.2.12	臨時教育委員の会議
H31.2.13	管内教育長会
H31.2.14	科学館運営理事会
H31.2.15	手づくり郷土大賞認定証授与式
H31.2.15	校長の会議
H31.2.15	まちづくり懇談会(佐田)
H31.2.18	市議会初日 ~3.20
H31.2.20	市議会施政方針質問
H31.2.20	選択校区制度意見交換会(四絡)
H31.2.21	地域学校協働本部事業研修会
H31.2.21	定例教育委員の会議

(2) 今後の予定

H31.2.24	くにびきマラソン
H31.2.27	市議会一般質問 ~3.4
H31.2.28	学校保健会功労者表彰式
H31.3.7	市議会文教厚生常任委員会・予算特別委員会分科会 ~3.8
H31.3.7	校長の会議
H31.3.9	中学校卒業式 3.10、3.12
H31.3.11	公募展表彰式

H31.3.14	出雲養護学校卒業式
H31.3.15	小学校卒業式 3.16、3.18、3.19
H31.3.20	市議会最終日
H31.3.23	塩津小学校閉校式
H31.3.24	乙立小学校閉校式、朝山小学校閉校記念集会
H31.3.25	同和対策委員会
H31.3.26	原子力発電所安全対策協議会
H31.3.26	定例教育委員の会議

(3) 施政方針質問

No.	議員氏名	質問要旨
1	山内英司	①初期集中指導教室の内容を伺う。 ②外国語教育について、教員から児童へ英語教育の必要性を伝える学習も必要と思われるが、その点についての考えを伺う。
2	川光秀昭	出雲市の企業誘致の進捗によっては、日本語指導を必要とする児童生徒はさらに増加していくことが考えられる。このような状況の中で、「初期集中指導教室」が開設される。内容について伺う。
3	福島孝雄	①空き店舗活用の課題解消の施策を伺うとともに、小中学校廃校舎への企業の利活用の推進及び、企業マッチングの考えを伺う。 ②通学路の危険ブロック塀の調査及び今後の対応策を伺う。

(槇野教育長) 只今の報告で、質問等がありますか。

(小豆澤委員) 20日に開催された選択校区制度意見交換会(四絡)は、こういったご意見があったのでしょうか。

(槇野教育長) 今の制度によって、四絡地区内での自治会活動に問題が生じているということでした。四絡地区に住んでいるけども、選択校区制度を使って今市小学校に子どもが通うことによって、その保護者の方の四絡地区への帰属意識が希薄になっており、地区の活動への参加について距離感があるということですか、子どもたちも四絡に住んでいながらなかなか地元の行事に参加しない・しにくいというようなことを言われましたし、災害が起きたときに非常に困るのではないかと、そういうときに事故があったらどうするんだというようなことを強調されていました。

選択校区制度だけの問題ではなく、他の要因がたくさん絡んでいますので、だから制度をなくすとか変えるとかというのも難しいところです。

これまで関係する学校、PTA、制度の利用者、関係する地区について意見聴取や意見交換をやってきました。それらの意見は、選択校区制度に問題は感じていないため、見直す必要はないというまとめかたがしてあります。それを昨日お示ししましたので、自分たちの考え方とは違うということでした。一番大きな問題として捉えているのが四絡地区、それ以外のところではほとんど問題はないという意見ですので、これからどうい

う方向性で検討していくのかということ、議論をしながら検討していくこととなりま
すし、教育委員の皆様にも四絡地区の意見を聞いてもらう場を設けてもらいたいとい
うことも言われていますので、今後調整しながら、委員の皆様のご意見も聞きなが
ら、いずれにしても、ここの教育委員会の場において選択校区制度についてどうある
べきかということをしるべき時期には議論していただくこととなります。

ほかはいかがでしょう。

(各教育委員) ありません。

2 会議録の承認

(榎野教育長) 次に、会議録の承認に入ります。前回1月定例会の会議録について、何
か意見がありましたでしょうか。

(各教育委員) ありません。

(榎野教育長) 特に意見等ありませんので、1月定例会の会議録については承認します。

3 報告

(榎野教育長) 続きまして、報告事項に入ります。報告(1)「日本語初期集中指導教
室」の開設についてを、学校教育課 金築課長 に説明をお願いします。

(金築課長) 資料に基づき説明

(榎野教育長) 只今の報告(1)について、何か質問等はありませんか。

(小豆澤委員) 設置の目的に沿った、児童生徒、保護者の皆さんへの支援の充実と、学
校の教員の皆さんの負担の軽減が両立できるように進めていただければ幸いかなと思
います。

(水委員) 4月15日に開設されて、資料の4. に載っている60名(平成30年2月
～平成31年1月の年間転入者数)の皆さんがここに行くことになるのですか。

(金築課長) そうではなく、3月中、若しくは開設する4月15日までのところで転入
された小中学校の児童生徒さんです。

(榎野教育長) 資料の4. の表(平成30年2月～平成31年1月の年間転入者数)の
月単位の人数が毎月、メンバーがぐるぐる変わりながらやっていくイメージです。

(水委員) それでは、少人数で推移していくということですね。

(槇野教育長) 1年間の経過を見ると、一番多い月で10人、一番少ない月で1人ということですので、少人数で行うこととなります。

(水委員) わかりました。

(槇野教育長) それでは、次に、報告(2)「学校給食への異物混入時の喫食中止緊急連絡体制について」を、学校給食課 金森課長 に説明をお願いします。

(金森課長) 資料に基づき説明

(槇野教育長) 只今の報告(2)について、ご質問等ありましたらお願いします。

(松浦委員) 先般、こういう体制をとっていただけないかということへの対応で、検討していただいていたありがとうございました。「5分以内」という目標もしっかり立っていて、あつてはいけませんが、あつたときには実行されるということが一番大事だと思いますので、よろしくをお願いします。

(小豆澤委員) 給食が調理されて学校へ配送され、また返ってくる時まで職員全員が残っていますか。

(金森課長) はい。

(小豆澤委員) 1点だけ気になるのが、平田は、連絡要員8名に対して在籍者が9名しかいないということなので、お休みとかもあると、常に他のところへ協力要請をとっておかないといけないのではないかと思うところもあります。

(金森課長) そのときは、臨機応変に、「1名あたり3校・園」としてはいますが、場合によっては4校に電話をかけたりというようなことを考えています。

(小豆澤委員) 調理された方が片づけまで残っていらっしゃるという勤務形態を聞いたことが一番安心しました。片付け時には人員が削減されていたらどうしようという不安もあったので、そこが確認できたことは良かったです。

(槇野教育長) 次に、報告(3)「平成30年度2学期までの出雲市立小・中学校における問題行動等について」を、児童生徒支援課 児玉課長 に説明をお願いします。

(児玉課長) 資料に基づき説明

(槇野教育長) 只今の、報告(3)について、ご質問等ありましたらお願いします。

(水委員) 欠席日数が30日になると不登校とみなされるということですが、今、学校現場でそういう状況が起こったら、教員がどこまで対応して、不登校対策指導員等、いろいろな事業がどういうふうに児童に対してなされているかという全体像みたいなものが、いつもこの表は見せていただくんですけども、どこで何をどう数を拾ってよいのかはつきりつかめないということと、「どういう手立てをやっても小学生が家にこもっている」という事態がとても心配ですけども、全体的にパターンで、「不登校傾向が出て、教員はどう対応して、こうなって」というような、もう少しわかりやすいものがあると良いと思います。

(児玉課長) 不登校対策のイメージ図を児童生徒支援課で作成しておりますので、お示しをして、全体像がわかっただけのように努めたいと思います。

各学校に繰り返しお願いをしていることは、初動の対応が大事であるということで、休み始めた1日目には必ず電話連絡をしてくださいということ、それから2日目には家庭訪問をしてくださいということ、それから3日目には学級担任だけではなくて、学校の組織として対応してくださいという、新たな不登校を生まないような手立てをお願いしております。

一方で矛盾したことを言うようですけども、出雲市教育委員会は、不登校になった後の人的な支援という部分では、他市町に比べて非常に手厚いと思っておりますが、今まで対症療法に頼っていたといいますか、それだけでは不登校の数が減りませんので、やはり、不登校を生まないための未然防止、具体的には学校に行くのが楽しい、明日も学校に行きたいという魅力ある学級であったり学校にするためにはどうしていくかというところに、今まで学校も努力はしておりましたけども、教育委員会としてもそこにもっと重点を移さないといけないということで、来年度から、人間関係、コミュニケーションのとり方というところに視点を当てて、人間関係作り・対話力を育てるような、子どもたち同士の関係作りをしようということで、計画をしているところでございまして、それを先ず大社中学校区から始めて、全市展開につなげていければ、かなり効果が出るんじゃないかなというふうに期待をしているところでございます。

それから、水委員さんおっしゃったように欠席日数の累計が30日になると自動的に「不登校」ということになってしまうんですけども、やはり中身の分析が大事だと思っております。不登校になった子がどういうふうに改善したのか、細かいところの追跡調査をすることが大事だと思いますし、各学校で効果があった良い事例を教育委員会でも蓄積をして、それを各学校に周知をして紹介をすることで取り入れていただこうと思っております。

(小豆澤委員) 新規の発生予防が課題だと重ね重ねおっしゃっていますが、(1)の不登校児童生徒数の表を見ると、不登校の数が小学校も中学校も昨年に比べて多くなっていますよね。一方、(2)の欠席日数30日未満の、いわゆる「不登校予備軍」と言われる数を見ると、そんなに増減ありませんよね。

(児玉課長) 今年度の傾向としては小学校の新規の不登校の児童が一気に増えたことが、総数が大きく増えた要因だと思っています。やはり、新たな不登校を抑えるということが大事なポイントだと思いますし、そののところをてこ入れといいますか、教育委員会としても重点的に取り組んでいかなければならないと思います。

(槇野教育長) 対前年比1.5倍の数になっていますので、危機感を持っておりますし、30日以上休む、あるいはそれに近い状況になった児童に対してはあらゆる支援をしております。しかしながら、なかなか難しいですけども、根本の、「不登校を生まない対策」をもっと強化していく必要があるかと思っています。

特効薬的なものはありませんので、様々なことをやり、その中から効果のあるものをしっかり取り組む、また、いろいろな施策を併用しながら、ここの数字自体が減ることをめざしたいと思いますし、一番大事なことは、学校が楽しい、学級が楽しい、そういう学校・学級作りを進めるということだと思いますので、基本を押さえながら、しっかりやっていきたいというふうに思っています。

いずれにしてもこれはなかなか深刻だと思っていますので、この数字については注視して報告していきますし、対策はできるだけ早期に対応して、その結果・成果を検証しながら進めていきたいというふうに思っています。

(松浦委員) いじめの加害が2学期で増加しているんですけど、3学期末も統計が出るわけですね。その2学期の時点の懸案が解決しているのかということも教えていただきたいと思っています。傾向としてどうであるか。

それと、大阪でスマートフォンを学校現場に持ち込むという決定があり、国が検討に入ったということですが、私は慎重に考えるべきではないかと思っています。議論もなく時期尚早である気がしますし、出雲は出雲で、現場の校長先生の中でもしっかり議論して、教育委員会でも議論していただきたいと思っています。非常に懸念しています。

(槇野教育長) 文科省も検討に入ってその方向へ動いていくんでしょうけど、どういう通知が来るのかということもあります。以前と比べて携帯の普及が高まったということと、災害時の連絡手段の確保ということで、大阪で地震があったケースを例に出しながら、携帯の持込を認めるべきだということですので、文科省の通知等を受けてどうするかということは、今おっしゃったように、出雲市の学校現場の状況など校長会の意見も聞きながら適切に対処していきたいなというふうに思っています。ただ、そういう報道がされると、持たせるべきだ、許可すべきだというご意見も出てくる可能性もあります。しっかりと話し合いをしながら決めていきたいと思っています。プラスの面だけでなくマイナスの面をどう見るかということが大事ななと思っています。

(松浦委員) それと、親のDVが今非常に話題となっていますが、出雲の状況はどうですか。

(児玉課長) 直接的には子ども政策課が「要保護児童対策地域協議会」という組織の事務局をしております、そこと教育委員会は連絡をとっていますけれども、かなり報告件数と言いますか、通告件数は多いです。それらの子どもさんに関わる支援会議も増えております、出雲市も「ひとつごと」ではないという受けとめをしております。

(松浦委員) 報道されましたように、学校や教育委員会の対応についての事案がありましたけど、先ほどの件数というのは、学校も把握している件数でしょうか。

(児玉課長) 学校も事案を認知したときには通告義務がありますので、児童相談所であったり、要保護児童対策地域協議会事務局であったり、必ず通告しないといけないという法律に則った対応をしておりますし、当然、事前に教育委員会へ相談もありますので、家庭との信頼関係もありますけども、法律で定まっている以上、各学校きちんと対応しております。

(槇野教育長) 新年度に子ども政策課に内室ができますので、一元的に対応するということになっています。

それでは、報告(3)についてはよろしいでしょうか。

(各教育委員) はい。

(槇野教育長) 次に、報告(4)「3月定例市議会への提出案件について」の①「補正予算案件」を、教育政策課 渡部課長 から説明をお願いします。

(渡部課長) 資料に基づき説明

(槇野教育長) 只今の、報告(4)の①について、何か質問等はありませんか。

(各教育委員) ありません。

(槇野教育長) 次に、報告(4)の②「平成31年度当初予算案件」について、各担当課長から説明願います。質問は説明後、一括して行います。渡部課長から説明をお願いします。

(渡部課長、金築課長、児玉課長、金山次長、金森課長、山本館長) 資料に基づき説明

(槇野教育長) 只今の、報告(4)の②について、何か質問等はありませんか。

(松浦委員) 33ページの部活動指導員の予算は、学校から要望が出てきたものではなく、枠として計上してあるものでしょうか。

(児玉課長) 今年度部活動指導員は0人で、地域指導者が7校で16人ですので、その

16人という数字を根拠として、もし人材が確保できれば、一人の方が部活動指導員、残りの方は引き続き地域指導者ということで計画をしたところでございます。

(松浦委員) 人間関係づくり・対話力育成事業は、視察できると良いですね。

(小豆澤委員) 就学援助事業の対象児童は全体の何パーセントに当たるのでしょうか。

(槇野教育長) 最新の月末のところでは、12.9%です。少しずつ増えてきています。

(小豆澤委員) 「日本の心のふるさと出雲」応援基金というのは、募集されているものですか。

(槇野教育長) ふるさと納税を基金に積み立てて財源とさせていただいているものです。

(松浦委員) 来年度予算の全体の感想として教育長はどうお感じですか。

(槇野教育長) 厳しい財政状況にありますので、予算化できなかったものもありますが、その中で、必要なものを予算措置していただけたかなと思っています。もちろん議会を通過して初めて予算として成立しますけども、案として、まずまずかなという気がしています。特に、日本語指導の関係の予算ですとか、英語の指導に関する部分の予算ですとか、かなりの部分を認めていただいたのではないかとこのようにみえています。

(槇野教育長) それでは、報告(4)の③「条例案件」-「出雲市立小学校及び中学校設置条例の一部を改正する条例」について、教育政策課 渡部課長 から説明をお願いします。

(渡部課長) 資料に基づき説明

(槇野教育長) 只今の、報告(4)の③について、何か質問等はありませんか。

(各教育委員) ありません。

(槇野教育長) 次に、報告(4)の④「単行議決案件」-「工事請負変更契約の締結について(檜山・東統合小学校整備第I期工事)」と、報告(4)の⑤「専決処分の報告」-「工事請負変更契約の締結について(第三中学校昇降口棟建築主体工事)」を、一括して 教育部 金山次長 から説明をお願いします。

(金山次長) 資料に基づき説明

(槇野教育長) 只今の、報告(4)の④及び⑤について、何か質問等はありませんか。

(各教育委員) ありません。

4 その他

(槇野教育長) 次に、「その他」に入ります。教育委員会の後援・共催事業について、教育政策課 渡部課長 に説明をお願いします。

(渡部課長) 資料に基づき説明。

(槇野教育長) 只今の報告について、質問等はありませんか。

(各教育委員) ありません。

(槇野教育長) その他、委員の皆さま、あるいは事務局の方で、何かございますか。

(小豆澤委員) 出雲ロータリークラブからということになるのですが、出雲市内の学校の皆様に古切手の収集活動をご協力いただいております。1万2千67グラム、推定枚数9万6千536枚が出雲市内で集まったと伺っております。日本全国で合わせますと、換金されると約2千万円だそうです。これを、発展途上国の医療活動の資金として役立てていただいております。今年も、今市小学校の先生と生徒さんが感謝状贈呈式に出席されまして、生徒さんも「この切手がどこに行くかわからないけども、どこかで人の役に立っているということをここで改めて感じ取ることができたので非常に嬉しかったです」というコメントをいただいております。改めて感謝申し上げて報告させていただきます。53年間出雲市内の学校の皆様にご協力いただいております。

5 次期教育委員会の開催時期

(槇野教育長) 次期教育委員会の日程ですが、平成31年3月26日(火)の、午後2時から、6階議会委員会室で開催いたします。

閉会

(槇野教育長) 以上をもちまして、平成31年2月出雲市教育委員会定例会を閉会します。

(15:39) 定例教育委員会閉会